

議会

No.215



自然劇場

議会に対するご意見
をお聞かせください。

お電話の場合

☎82-3111(内線150)

E-mailの場合

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

年頭のご挨拶



本島平村議会議長

森 正 仁



明けましておめでとございます。

村民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃から、議会活動に対し、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、振り返りますと、昨年は、全国各地で自然災害が多く発生した年となりました。幸い、本村においては、大きな自然災害はありませんでしたが、夏場の猛暑と少雨の影響で、渇水状態が続く、水田等の深刻な水不足に苦慮した年でありました。

このような中でも、昨年11月、岐阜県高山市で開催された「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、本村から出品された木島平米が、10年連続金賞受賞など、素晴らしい成績を収めましたことは、木島平米のブランド化に取り組んでいただ

ている、多くの農家の皆様のご努力の賜であり、深く敬意を表すとともに、今後の更なる発展を祈念するところであります。

また、昨年11月には「一般社団法人木島平村観光振興局」が設立され、「観光地域づくり」に向け、新たな一歩を踏み出しました。商工、観光、農業などが連携し、地域経済の活性化を目指す組織であり、交流人口拡大に向け、積極的な取り組みを期待するところであります。

また、懸案であった「役場新庁舎」も、本年11月には完成予定であり、職員には、より一層、村民の皆様へ寄り添った村づくりを願うところであります。

私たち議員は、この4月で任期が満了となりますが、残された任期も、より暮らしやすい村を目指し、村民の皆様の付託に応えられるよう、真剣に取り組んで参る所存でありますので、皆様方の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、新たな元号がスタートする平成31年が、木島平村にとりまして、村民の皆様方にとりまして、ご健勝で、実り多き良い年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成30年12月 第4回定例会

19議案を審議

11月30日から12月14日まで

平成30年12月第4回定例会

今議会上程された次の議案は、それぞれ、全会一致で可決・採択・同意となりました。

- ・ 条例の一部改正 (3件)
- ・ 補正予算 (11件)
- ・ 陳情 (3件)
- ・ 人事 (2件)

条例 3件

国の人事院勧告(※)に基づき、議員報酬・特別職(村長・副村長・教育長)及び一般職員の給与を、改定するための条例改正です。

(掲載にあたり条例名は簡略化しました)

- 議員報酬及び費用弁償等に関する条例 (一部改正)
- 特別職の給与に関する条例 (一部改正)
- 一般職の職員の給与に関する条例 (一部改正)

※人事院勧告に基づく給与等の改定

国の独立機関である人事院は、毎年、民間企業の月例給与と特別給(ボーナス)を調査し、役職、勤務地域、学歴、年齢等による給与の比較を行い、国家公務員の給与水準を民間企業に準拠することを基本に、国会・内閣・各機関の長等に、給与等の改善勧告を行っております。

これを受け、地方自治体でも、国家公務員給与の増減割合に応じた給与改定の条例案及び補正予算案を議会上程します。

平成30年12月 第4回定例会のあらまし

日付	主な内容	詳細
11月30日(金)	開会 議案上程	◎会期の決定。 ◎9月議会の審査意見に対する回答。(村長) ◎9月定例会以降の行政報告。(村長) ◎議案上程〔平成30年度補正予算案(7件)・陳情(3件)〕 ⇒所管の常任委員会へ付託。
	全員協議会	◎村からの協議事項等(内容は26ページ)の説明と質疑など。 ◎議員間での協議および出席した会議等の報告など。
12月4日(火)	予算決算 常任委員会 (全議員)	◎「平成30年度補正予算」及び「事業の進捗状況」について、各課からの説明、質疑、審議等。
12月11日(火)	一般質問	◎5人の議員が、村政の課題に対して質問。 (各議員の質問項目は25ページ、要旨は2月号に掲載予定)
12月12日(水)	総務産業 ・民生文教 常任委員会 ほか	◎大規模修繕が見込まれる「ファームス木島平の天井部分」等の状況を調査。(修繕・改修は来年度以降に実施予定。) ◎予算決算常任委員会の「審査意見」について協議。 ◎陳情の審議。(各常任委員会)
12月14日(金)	全員協議会	◎追加議案〔人事院勧告に伴う条例および補正予算、人事案(固定資産評価委員・教育委員)〕の詳細な説明と質疑、議員間での協議等。
	採決	◎各常任委員長による委員会審査の報告および採決。 ◎追加議案上程および採決。 議案すべて、全会一致で、原案通り可決、採択、同意。

平成30年度補正予算 11件

一般会計補正予算 (第6号)

歳入・歳出に約9027万円を増額し、総額35億3018万5千円となりました。

主な内容

※千円以下四捨五入
 ・会計年度任用職員制度(※)移行に伴う条例等の整備に係る委託料 (65万円)

(※)会計年度任用職員制度とは
 現在、各自治体で雇用されている臨時職員や嘱託職員を、平成32年度(1年後の4月)から「会計年度任用職員」という身分にするものです。
 これまで、臨時職員や嘱託職員は、自治体によって取扱いが大きく異なっていました。平成32年度からは地方公務員法などの法律で定められることになります。
 具体的な労働諸条件は、各自治体で定めることとなりますが、勤務時間や諸手当、社会保障関係などが大きく変更されます。

・全国共通電子納税システム稼働のための負担金 (106万円)

・県議会議員選挙(平成31年4月執行)の準備経費。(120万円)

・消防団の退職報償金減額。(退団者の確定に伴う)。(▲90万円)

・消火栓設置負担金減額。(牧の地区の水道管敷設工事が延期になったため)。(▲130万円)

・生活弱者世帯への灯油購入費補助。(灯油価格高騰に伴う) (67万円)

・養護老人ホーム入所者減による委託料の減額。(▲97万円)

・新規就農者の研修補助金減額。(補助対象者がいないため) (▲150万円)

・ふるさと納税の返礼品の送料。(申込者増に伴う) (196万円)

・有機センターの修繕費減額。(来年度の劣化診断により再検討) (▲459万円)

・地域おこし協力隊退任による減額。(▲211万円)

・村内事業者の融資に係る保証料の補給金。(設備投資等、融資の申請件数増に伴う) (44万円)

・下水道事業特別会計への繰出金。(浄化センター機械修繕に伴う) (816万円)

・住宅等活用補助事業減額。(耐震改修や克雪改修の申請がなかったため) (▲245万円)

・スクールバスのスタッドレスタイヤ購入(3台分)。(66万円)

・小・中学校の冷房設備の設計費と工事費。

小学校 (4575万円)
 中学校 (4139万円)

・平成29年度に発生した農地災害復旧の精算。(▲198万円) ほか

歳入

事業に係る**特定財源(※)**を活用するほか、不足する3619万円(一般財源)は普通交付税で調整。

特別会計補正予算

■後期高齢者医療(第2号)

広域連合への納付金の額確定補正額 ▲162万3千円。
 (総額5439万3千円)

■国民健康保険(第2号)

退職者の医療費等が伸びたため補正額 282万7千円追加。
 財源 一般会計および国民健康保険基金からの繰入金。
 (総額5億3964万3千円)

(※) 特定財源とは

財源には「一般財源」と「特定財源」があります。「特定財源」は用途が決められている財源で、県や国からの特定の事業に係る補助金や交付金、参加者や利用者からの徴収金などが含まれます。

例えば、小・中学校へのエアコン設置にあたっては、「冷房設備対応の臨時特例交付金」と「学校教育施設等整備事業債(借入金)」の特定財源に加え、不足分を一般財源で対応します。

■介護保険(第3号)

要介護者の住宅改修の件数増加。

補正額 15万9千円追加。

財源 国・県支出金、一般会計

繰入金など。

(総額 5億7449万7千円)

■下水道(第2号)

①落雷によるポンプ場通報装置の

故障(3か所)。

②浄化センターの脱水機コント

ローラーの故障。

補正額 956万5千円追加。

財源 ①共済保険金。

②一般会計繰入金。

(総額 3億7386万6千円)

■高社簡易水道(第3号)

牧の入地区の配水管敷設工事

延期に伴う減額。

補正額 ▲2105万8千円。

(総額 3097万1千円)

水道事業会計

補正予算(第2号)

内容 公営企業会計システム

の更新を計画していたが、国

のガイドラインが決定してい

ないため、次年度以降に送る。

補正額 ▲648万円。

(総額 1億1840万2千円)

陳情 (採択)

■安全・安心の医療・介護の実現と

夜勤交替制労働の改善を求める

陳情

意見書を国に提出しました。

■消費税増税の中止を求める陳情

陳情

意見書を国に提出しました

■太陽光発電施設設置に関する

陳情

本会議の委員長報告で、陳情

趣旨が述べられました。

最終日追加議案

◆人事院勧告に基づく

条例改正と補正予算

*条例改正は23ページ参照。

*補正予算は、人件費等で総額

81万2千円を追加。

人事 (同意)

■固定資産評価審査委員

・清水洋一さん

■教育委員

・佐藤小百合さん

太陽光発電施設設置に関する陳情について

太陽光発電施設設置の陳情については、自立型の事業用ソーラーパネルの設置を懸念する周辺住民からの声です。

観光資源としての「景観」や、周辺住民の生活を守るため、今後、設置業者等による「事前の『住民説明会』開催等の義務付け」や「条例整備」等を求めるものです。

予算決算常任委員会 審査意見

- ①村営住宅等の管理にあたり、本来、入居者の責任による案件を村が負担しないよう、入居者との責任分担を明確にされたい。
- ②農の拠点施設の修繕費が計上されているが、老朽施設の修繕は、長期的な展望を持って計画されたい。

また、使われていない加工施設も良好な管理のもと、活用を推進されたい。

各議員の一般質問の項目

12月11日(火)、5人の議員が次の課題について質問しました。質問・答弁の要旨は来月の議会だより(2月号)に掲載します。

◆土屋 喜久夫 議員

- ①水田農業の進め方
- ②農の拠点事業の見直しを
- ③移住定住政策について

◆江田 宏子 議員

- ①ファームス木島平の今後の運営について
- ②放課後子ども教室(スキルアップ教室)について
- ③「子育てと教育の村」のアピールを

◆勝山 卓 議員

- ①行政運営について
- ②産業振興について

◆吉川 昭 議員

- ①高原シャトル便の状況と展望について
- ②北信地域振興局提案のツアーについて
- ③農業と観光の村に対する村長の考えについて

◆萩原 由一 議員

- ①村職員の定年について

11月30日(金)

村から、次の内容について、説明等がありました。

①実施計画、財政計画

平成30年度実施計画を基に想定される「平成31年度から5年間の財政計画」（予算、基金、地方債残高などの推移等）について説明がありました。

実施計画（平成31年度から5年間に見込まれる事業計画案）は、資料が膨大であるため、今回、新たに盛り込まれた事業項目の説明となりました。

今後見込まれる事業(案)

- 役場周辺整備
- 防災行政無線整備
- 総合福祉センター建設（補助金）
- ファームス木島平施設改修
- 有機センター修繕
- 小・中学校タブレット導入
- 公共施設・道路・橋梁等老朽化対策など

評価区分表（数字は平成29年度事業に対する結果）

区分	評価区分	件数	判断基準	
公共性	A 問題なし	28	◆行政として実施すべき事業か	
	B 概ね問題なし	29		
	C 改善の余地あり	1		
	D 検討を要する	0		
公平性	A 問題なし	22	◆村民に対して公平な事業内容となっているか	
	B 概ね問題なし	34		
	C 改善の余地あり	2		
	D 検討を要する	0		
有効性	A 大きな効果あり	16	◆実施した事業が住民福祉の増進に寄与しているか	
	B 一定の効果あり	41		
	C 改善の余地あり	1		
	D 検討を要する	0		
効率性	A 問題なし	16	◆事業実施方法や費用対効果の面で問題はないか	
	B 概ね問題なし	37		
	C 改善の余地あり	5		
	D 検討を要する	0		
総合	A 継続（現行どおり／拡充して）	22	事業	
	B 継続（成果の向上／事業の充実化）	34		事業
	C 改善・縮小	2		事業
	D 廃止・休止	なし		

②行政評価（事務事業評価）

事務の改善や、より効果的な行政サービスの提供のために、今年度、事務事業評価を実施しました。評価区分表（左図参照）に基づき、事業の継続や改善などの判断を示したものです。

今回の対象事業は、「総合振興計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を構成する事務事業（58事業）に絞りました。平成29年度の各事務事業評価の詳細は、村の公式ウェブサイト内

の「村の各種計画」に掲載されています。

③旧庁舎跡地活用(案)

旧庁舎の跡地について、庁内検討委員会（副村長・教育長・総務課長・各係長）で検討された活用案が示されました。

新庁舎が防災拠点となることから、跡地は「災害時の避難地」と位置付け、一角に「防災用備蓄倉庫設置」が有力な活用案となりそうです。

④除雪計画

今年度の除雪計画について説明がありました。

今年度、スキー場線から防災ダムへ下る道の除雪は行わない旨の説明がありました。

⑤中村融雪道路修繕及び西小路地区の県道工事進捗状況

中村融雪道路の修繕が完了しました。

また、西小路地区の通学路の拡幅工事は、今後、計画的に進めるとの説明がありました。

⑥水道自動検針の廃止

水道の自動検針は、毎年330万円かかっていますが、検針員による検針に変更した場合、年間83万円となる見込みです。

検針員の確保など、課題はありますが、平成32年4月からの自動検針の廃止に向けて、検討を進めていくとのことでした。

⑦上千石砂防ダム建設の進捗状況

土砂災害防止のため、上千石に砂防ダムを建設します。そのため工事用道路の検針図が示されました。工事工程表では平成37年完成の予定です。

全員協議会（議員のみ）

11月30日（金）

①議会関係の条例・規則等の一部改正に向けての協議

○常任委員会の委員の任期について

条例では「4年」ですが、実際は2年で改選していることから、条例を「2年」に改正。

○傍聴時の受付簿について

これまで一覧表に記入していたものを、個人情報保護の観点から、1人1枚ずつの「受付票」にし、受付箱に投函する方式に変更します。

○村民からの「住民監査請求」

地方自治法の改正に伴い、議会への「監査請求があつたこと」の通知が義務付けられました。

②議会費の新年度予算要求

新年度予算編成に向け、議会費について、議員側の要望を確認しました。

なお、来年度は、村議会議員選挙が執行され、議会構成が変わることが予想されるため、卓上名札や議員名板、調布市へのあいさつなど、必要経費が増額予定です。

ファームス木島平 修繕必要箇所の現地調査

〔12月12日（水）〕

農の拠点施設（ファームス木島平）で、来年度修繕予定の「屋根の状況」等の現地調査をしました。

担当職員から、雨漏りの状況や修繕計画概要の説明を受けました。多額の費用がかかるため、議会でも状況を注視していきます。



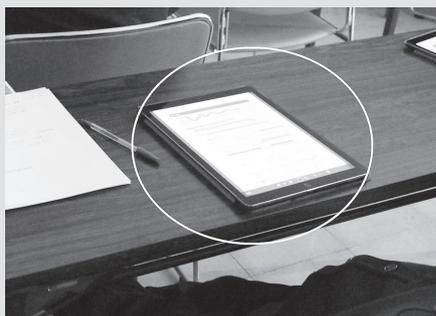
屋根の一部



議会におけるタブレット活用研修会

〔12月19日（水）〕

県や市など、大きな行政や議会では導入が始まっている「タブレットを活用した会議システム」について、東京インタープレイ(株)から講師をお招きし、近隣の議会にも声を掛け、実際にタブレットを操作しながら研修を行いました。



タブレットを活用することで、膨大な資料のペーパーレス化、書類管理や連絡業務の効率化などが図れます。

金融機関でも採用されている高度なセキュリティを備え、個人情報なども安全に管理されているとのこと。実際に操作し、非常に便利で、効率的であることが実感できました。

初期費用や月額費用、タブレット本体の交換期間が短いなど、費用面での課題もあり、導入はまだ先ですが、将来的にはこのようなシステムが主流になると感じました。